

フォーラム・名古屋木の棚田と 生き物たちを未来へ！

丹沢ドン会
30周年記念
フォーラム

2017年4月から3か年にわたり実施した秦野市名古屋木の自然調査は、2019年8月に最終報告が整いました。東海大学人間環境学科自然環境課程の北野忠・藤吉正明両研究室と、慶應義塾大学一ノ瀬友博研究室の調査により、植物252種、動物（クモなどを除く）586種、合計838種の生き物が確認されました。丹沢ドン会のフィールドとその周辺という限られたエリアにもかかわらず、これほど多数の生き物が生息する名古屋木の自然の豊かさを実感する成果です。同時に、この地域で20年余にわたり丹沢ドン会が取り組んできた棚田の復元活動と、無農薬・有機の米づくりを始めとした食べものづくりが果たしてきた役割の大きさを再確認しました。里地・里山に人の手が入ることで豊かな自然が甦ったのです。名古屋木の自然調査の成果は、『丹沢山ろく名古屋木 棚田の生き物図鑑』（夢工房）として、2021年9月に刊行しました。

私たちの安全・安心な食べものづくりのあゆみと、生き物たちの多様性との共存は、名古屋木に限らず、全国共通の課題です。また、このような伝統的な農村風景を次の世代へ引き継ぐことは、いまに生きる私たちが未来から託されたテーマでもあります。名古屋木の自然の豊かさ、丹沢ドン会の棚田の復元・米づくり活動の関わりを広く市内外の人びとや子どもたちへ伝えたいと思います。下記により、フォーラムを開催します。多数参加くださいますよう、ご案内いたします。 2022年2月 NPO法人自然塾丹沢ドン会

私たちの安全・安心な食べものづくりのあゆみと、生き物たちの多様性との共存は、名古屋木に限らず、全国共通の課題です。また、このような伝統的な農村風景を次の世代へ引き継ぐことは、いまに生きる私たちが未来から託されたテーマでもあります。名古屋木の自然の豊かさ、丹沢ドン会の棚田の復元・米づくり活動の関わりを広く市内外の人びとや子どもたちへ伝えたいと思います。下記により、フォーラムを開催します。多数参加くださいますよう、ご案内いたします。 2022年2月 NPO法人自然塾丹沢ドン会

～「名古屋木の自然調査」報告会～
2022年3月26日(土)
秦野市立本町公民館

日時：2022年3月26日(土) 13時～16時15分

会場：秦野市立本町公民館 大会議室（イオン秦野店に隣接） 定員：先着150名

共催：NPO法人自然塾丹沢ドン会・NPO法人神奈川県自然保護協会・秦野市 後援：秦野市農業協同組合

参加費：無料 事前申込制：3月23日締め切り。住所・氏名・電話番号、Eメールを添えて下記まで）

申込先：秦野市環境共生課【☎(0463)82-9618 Eメール：k-kyousei@city.hadano.kanagawa.jp】

*新型コロナウイルスの感染予防対策に万全を期して参加してください。感染拡大の状況により延期する場合があります。

<プログラム>

第1部 名古屋木 ありがとう！ これからも！ (13時～14時)

オープニング **フォルクローレ・ミニコンサート** (木下尊惇) 13時～25分
あいさつ 13時25分～35分
棚田の復元と丹沢ドン会30年のあゆみ (岡進・丹沢ドン会) 13時35分～14時

第2部 名古屋木の棚田と生き物たちを未来へ (14時10分～16時15分)

<調査報告>名古屋木の自然調査の成果とこれから (各20分)

名古屋木の田んぼの植物 藤吉正明 (東海大学教授)
名古屋木の田んぼの生き物たち 北野忠 (東海大学教授)
名古屋木の棚田周辺の生き物たち 湯浅啓輝 (慶應義塾大学一ノ瀬研究室 秦野生物多様性プロジェクト)

<フォーラム>名古屋木の自然を未来の子どもたちへ (60分)

内容：名古屋木の「さとやま」の現状と課題、未来の子どもたちへのメッセージ

パネリスト：藤吉正明・北野忠・湯浅拓輝・谷芳生 (秦野市環境共生課長)・金田克彦 (丹沢ドン会)

進行：片桐務 (丹沢ドン会)

<16時15分 閉会>